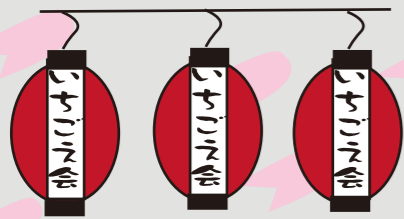


いちごえ会

第16回交流会 in 小金井公園



2018年4月1日
晴天に恵まれお花見日和で、新入会の上村さんご一家、ゲストとして三鷹で高次脳機能障害当事者会「ぽっぷ」から福島芳美さんが初参加され、次のようなコメントを頂きました。

「ぽっぷ」は、月一回、当事者同士の話し合いをしながら、友好を深めています。他の団体の方々とも、お話出来る機会があると嬉しいなと思ひ、見学を兼ねて参加させて頂き今後合同で、当事者会を開催出来たら嬉しいです。

第一部 小金井市障害者から福祉センター

自己紹介と近況報告でした。上村さんが事故後の不安を話され、みんな体験したことを思い出し、涙ぐむひと時もありました。

第二部 小金井公園に移動し持参した茶菓、ビールなどで桜を愛でながら話に花が咲きました。上村さんのお子さんたちと戯れいいお父さんやお爺さんぶりを発揮し、近年にない家族的なお花見でした。楽しいハプニングがありました。

カスタマイズ就業でともに学んだ飯野雄治さん、峯尾舞さん、M君がたまたまこの日小金井公園におられ、私たちのために本格的な「M君のコーヒー」を入れて下さいました。M君は将来自分の飲食店を開きたいと頑張っています。

M君のコーヒー

花見を楽しみながらお互いの絆を確認できました。「ポップ」の福島さんもすっかりなじみ今後も仲良く交流することを話し合いました。

武藤交流会運営委員長をはじめ、早朝からはお花見の場所取りをして下さった保手さん、全員の一致協力楽しく、意義深い交流会が出来ました。



第一部を終えて 障害者福祉センターにて

朗報

高次脳機能障害者の支援関係機関向けの相談窓口開設

- * 高次脳機能障害の診断・評価
- * リハビリテーション
- * 当事者への対応方法
- * 生活支援*制度の利用など各種の相談に対応

連絡先：東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科外来 渡邊修 03-3480-1151

なんでも

北多摩南部医療圏高次脳機能障害地域支援研修会

平成30年2月25日
講演：高次脳機能障害へのリハビリテーション
～地域における当事者・家族支援～
多摩丘陵病院 松岡耕史氏
三鷹市事業所報告
1)三鷹市役所障害者の基幹相談支援センター
2)ワークステーションJade中野
3)就労移行支援事業所TODAY三鷹
事例検討

中野区高次脳機能障害理解促進セミナー

2018年3月29日
講演：高次脳機能障害者の就労支援
～次のステップを踏み出すために～
特定非営利活動法人VIVID代表理事 池田敦子氏
ご長男の高次脳機能障害を機に60歳代で社会事業大学専門職大学院経営マネジメントコースに入学、その後仲間とVIVIDを設立、高次脳機能障害者のミニデイサービスを開所、B型作業所を開設準備中で、実践的で刺激的でした。
体験発表当事者 三輪英明氏
増村他計3名参加

国立市主催「社会で働く」を考える

2018年3月16日
講演：当事者から伝える“再び働く”
S氏は10年前、病気で高次脳機能障害になり、半年後に復職、休職、転職の繰り返しで現在4社目、障害者雇用で漸く落ち着くことが出来ました。今、会社では自分に合った環境(休憩時間、日中リズムの調整、机をパーティションの角に配置)で会社と「話し合い・微調整」しながら自分の歩幅で歩き始めています。
シンポジウム：
医療機関：北原国際病院峯尾舞氏
失語症者を紹介。
企業：トッパン・フォームズ株式会社日野センター
約300人(うち精神障害者16名身体障害者3名)働いており、峯尾舞さんが紹介した失語症者は全く言葉が出なかったが今は大分出るようになり気持ちよく働いています。
増村他計5名参加、TKKの仲間も多数参加、実践的なセミナーでした。

今年もやって来た!



あしたば作業所訪問

2018年2月20日
上田敏先生をはじめ数名で見学しました。働きながら自立する事を目指しています。
利用者は細分化された工程を丁寧に仕上げ、美しく高品質の木工品を制作し、暖かい雰囲気作業所でした。



高次脳機能障害講演会体験発表

日時:平成30年2月16日 主催:国リハ
平成29年度第2回支援コーディネーター
全国会議・シンポジウム
高次脳機能障害児・者の支援研究報告
小児期に受傷・発症したケースの就学・復学支援に
ついて

講師 岡本邦広氏
福井県立嶺南東特別支援学校
家族の立場から
いちごえ会代表増村幸子



長男の発症からいちごえ会設立の
理念・目的、今の活動状況を発表しました。
特に強調したのは**地域で生きがいを持って働き、
安心して普通に生きる**でした。

上田敏先生による相談事例の中から、特に小児期
発症の事例を詳細な検査などを発表し、会場の
皆さまから多くの反響がありました。

白玉カフェ IN 中央大学緑川ゼミ 高次脳機能障害を語る

2018年1月14日

緑川ゼミからお招きを受け「高次脳機能障害者の
困りごと・今」についてお話をしました。仲良くな
った4年生は「介護者の負担感軽減調査」を卒論に
纏めた方、臨床心理士を目指す方、大学院で福祉を
さらに勉強し弱い人たちの支援をしたい方など、頼
もしく誠実なゼミ生たちでした。

禁止されて)白玉団子を楽しく作り、ぜんざいや黄
粉などでおいしく頂きました。

今回は3年生が中心になって企画・運営をしまし
た。今後4年生になられても交流を続けて欲しいと
願っています。



2018年1月27日 主催:小金井市
高次脳機能障害の基礎と回復を促す
基本的な考え方

講師 渡邊 修氏
東京慈恵会医科大学付属第三病院

体験発表

**小金井で自分流にカスタマイズした
やり方で働き、
仲間とともに普通に生きる**

村田 雅英
いちごえ会副代表



発症からリハビリ、上田敏先生との出会いとリハ
ビリの指導、いちごえ会創設、小金井で高次脳機能
障害にカスタマイズした働き方で働き、小金井の皆
さんとともに暮らしたいと発表しました。
(YouTube でご視聴いただけます)

いちごえ会 第7回総会・第11回講演会

講演 14:15~16:00
**いちごえ会6年間の歩みと
高次脳機能障害者の
社会復帰にむけた課題**

上田 敏氏
いちごえ会顧問
(公財) 日本障害者リハビリテーション協会顧問
元東京大学教授

総会 13:00~14:00
小金井市の障がい福祉施策について
福祉保健部 自立支援課

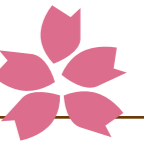
課長 加藤 真一氏

2018
5/19土
13:00~16:00

会場 小金井市市民会館「萌え木ホール」3階
小金井市前原 3-33-25

参加費 1,000円 (会員無料 / 当日入会の方無料)

上田敏先生による相談会



2018年2月5日 Kさん
受傷後約2年、最初の相談と比較して
表情が豊かで穏やかになっておられまし
た。施設で日記を書く、長い文章の要旨
を短く纏める、近隣の歩行訓練など近況
報告をすることといったアドバイスが上
田敏先生からありました。

海外での事故による労災申請は想像以
上に大変ですが、J病院の先生、ケース
ワーカーさん、弁護士の懸命の支援で時
効寸前に労働基準監督署が受理しました。

2018年3月20日 Mさん
発症後13年以上、ベテランSTの
綿森淑子先生による失語症の検査を受け
ました。失語症でも出てくる症状の違い
があり、高次脳機能障害は複雑で、障害
種別をひとつくり出来ません。今後も引
き続き相談を受けることになりました。
発症後早々のリハビリが有効で、でき
る事を伸ばすようにと、話されました。

第2回
ほっと♡かふぇ

当事者からの情報提供
話す人 村田雅英さん
日時 2018年6月10日
14時~16時
場所 前原暫定集会室2階B
小金井市前原 3-33-27
参加費: 500円
ファシリテーター: 重盛、山野
保手 (090-7283-1829)

2018年3月7日 上村秀一さん
発症後3ヶ月、復職を目指した方の相談会
でした。上田敏先生は詳細に問診、脳の写真
を見た後、足の腫れには丁寧に触診し奥様にも
アドバイスされました。
自宅療養中に日記を書き要旨を纏める訓練をし、いちごえ会の
仲間と交流し、経験者の話を聴くなど復職に向けた注意などア
ドバイスをされました。復職前に再度上田敏先生の相談を受け
ることになりました。



相談会に参加して
昨年末に交通事故で頭を強打し、高次脳機能障害と診断を受
けました。2ヶ月の入院生活後、すぐに復職を希望し、夫婦揃
って相談会に参加させて頂きました。
終始和やかな雰囲気の上田先生にじっくりと問診して頂きまし
た。事故当時の状況から普段の生活、職場の環境や復職につい
てなど、リラックスしてお話できました。また妻にも受傷後の
家庭での変化を話せるようにご配慮頂き、私と面と向かっては
言えない妻なりの考えや感じている事を、冷静に受け止め、知
る事もできました。私達夫婦の話を踏まえた上で、上田先生か
ら私に合ったリハビリ方法までご提案頂き、大変感謝しており
ます。相談会に参加して自分自身の変化や障害を受け入れてい
ない事に気付かされ、復職するにはまだ早い事を痛感しました。
相談会後も、上田先生からリハビリに関するメールを頂き実
践し、増村さんから勉強会にお誘い頂き参加するなど、着実に
社会生活や復職に向けての一步を踏み出せていると感じており
ます。これからもこの障害を受容しながら、復職を目指し前進
したいと思います。

障害のある人もない人もともに学びともに生きる
社会を目指す小金井市条例(案)説明会

主催 小金井市地域自立支援協議会
小金井市福祉保健部自立生活支援課
2018年2月12日
小金井市民一人一人が障害を理解し、適切な配慮を学び、
実践し、誰もが平等に暮らすために「障害のある人を差別
しない小金井市条例」を制定することになり、関係者の皆
さまは長期にわたり熱心な話し合いを重ね、4月条例制定
を目指しています。いちごえ会から5名参加しました。